



市長は「人権侵犯」の責任を取るべき

弥吉治一郎 議員

問 ゴミ焼却場の臨時職員採用取り消し事件は法務局が「人権侵犯」、さらに、政治倫理審査会も「政治的理由により、組合長として不採用とした行為は、政治倫理条例違反」と断定した。条例に違反したら「市民の信頼を回復する措置を取らねばならない」との規定がある、どう措置するのか。

市長 広報4月号で「厳粛に受け止める」とコメントしている。

問 「政治的理由」で不採用は、「地位に基づく影響力の不正行使で、自己の利益を図るもの」と断定されている。市民は「市職員も市長の支持者だけを採用している」などと、噂している。広く市民や議会の意見を聞くなど、しかるべき措置を取らないと市民は納得しない。

「まちづくり交付金」は「JR羽犬塚駅前の開発に使え」

問 期成会からの負担金の目途がないと新幹線駅は建設しないと約束していたは

市長 「建設しない」とは言っていない。

問 新幹線の駅前に駐車場などを建設する事業は国からの「まちづくり交付金」が使われる。JR羽犬塚駅前の開発はどうするのか。

「まちづくり交付金」は都市機能を回復活性化する事業への補助金だ。何も都市機能のない船小屋駅に使うより、JR羽犬塚駅前の整備に使うのが「まちづくり交付金」の目的はずだ。

市長 財政的に厳しい状況で、今明確にできない。



「取り残された」JR羽犬塚駅前の開発

財政健全化を問う

中富正徳 議員

外部監査制度の導入検討を

問 財政に対するチェック機能が充分とは言えないと思うが、監査としてはどう考えているか。

問 総務省は平成20年度より4つの指標・基準を設け

代表監査委員 現在の監査は既に実施された事務なり事業なりについて行っている。計画中のものには関与していない。監査結果については、改めてもらうべきところは、改めてもらうよう強く要請している。また

条例や規則等に合致しているかも見ている。それから公平委員会も兼ね、監査委員2人事務局2人の計4人でやっている。

市長 行政の簡素化、チェック機能に役立つなら費用対効果を考え前向きに検討したい。

問 外部監査は第三者から見た監査であり客観性、公平性、信用度が高いと言われている。特に財政状況が市民から見えて判断できる基準を確立してもらいたい。

市長 行政の激変中、監査制度だけでは対応できない。今は役所内で経営政策会議を設置し、全部長の共同責任としている。

問 歩道に大量のゴミが長時間ある箇所への対応は。また、以前から来所時駐車

「ゴミ収集時間の短縮と市役所の駐車場確保は」

問 歩道に大量のゴミが長時間ある箇所への対応は。また、以前から来所時駐車

歩道をふさいだゴミの山



歩道をふさいだゴミの山